

<p>令和7年度重点目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新カリキュラムの学生が全員国家試験に合格する 2. 基礎看護学の逆向き設計を成功させる <ol style="list-style-type: none"> ① 学生が状況に合わせた日常生活援助を実施できる ② 学生は安全の基本を理解して行動する ③ 学生は演習に主体的に参加しタイムマネジメントできる ④ 学生は何が看護で、看護師がなぜそうするのかを説明できる 3. 1年時の科目にGiddensのコンセプトを導入する 4. 基礎看護学技術を網羅する 5. 大阪府下80%以上、かつ3市3町就職率60%を維持する 	<p>数値目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 受験者数が80名以上になる 2. SNSのリーチ数が毎月1000以上を維持する 3. 第115回看護師国家試験に全員合格する 4. 大阪府内80%以上、かつ3市3町就職率60%以上を維持する
--	---

	令和7年度 6月までの活動内容と評価	改善案
<p>基準1： 教育理念</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度卒業の21期生の卒業時自己評価から、デプロマポリシー（6P）を実習目標に取り入れたことで学生への周知が徹底できていたと評価する。そのため、今年度も継続していきたい。6Pに社会人基礎力の評価項目を対応させた評価表を作成したため、卒業時評価の1つとしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・HP、SNSの投稿の更新を継続する ・学生へのデプロマポリシー（6P）を指導に活用し、周知の徹底を図る ・6Pの評価を社会人基礎力のチェックシートで7月と12月にチェックする
<p>基準2： 学校運営</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・泉佐野市ふるさと納税の看護学生応援プロジェクト補助金により、学生の教育環境改善（校舎の修繕、自習室を増やす、教室環境の改善、モデル人形の購入など）の計画を進められている。 ・教員支援として、専任教員資格取得に向けた支援、中堅教員の教務主任養成講習会受講支援など教員研修の充実を行っている。カリキュラムに関する抄読会やNEOを活用した研修参加が実施できている。 ・ガラケーの修了に伴い、スマホへの移行について具体的に計画する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員研修の充実：NEOの活用、教員研修計画の実践 ・教員用携帯電話のスマホへの移行計画をすすめるが、使用目的を整理して私物と業務用を分けるか同化を検討する ・学校データを年度内にクラウド化する
<p>基準3： 教育活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員は主体的に活動しており、卒業生とのコラボレーションも充実している。 ・実習施設との合同学習会や交流が深まっている。 ・今年度の取り組みとして、基礎看護学の逆向き設計の成功と1年時の科目にGiddensのコンセプトを導入することが挙げられており、現在取り組みを開始している。 ・ふるさと納税によって、教材の充実をはかり、授業・演習を充実させていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門実習の実習評価を行う。 ・看護技術項目の経験項目は順調に体験している。このまま継続し経験項目の達成状況を把握していく。 ・基礎看護学の逆向き設計のシラバスを作成し、基礎看護技術の演習を網羅する。 ・24期生からGiddensのコンセプトをカリキュラムに導入する
<p>基準4 学修成果</p>	<p>今年度はコンセプトカリキュラムで学習した学生が卒業した。講師や実習指導者からもコンセプト学習の有用性を感じると意見をもらっている。国家試験対策として、各専門実習に筆記テストを組み入れ評価に反映したが、実施後のフォローに課題が残った。全国模試の学校順位は全国の中間の位置づけである。1月末の模試では全ての学生が合格圏内の判定であった。しかし、国家試験は1名が不合格であった。普段から自己の考えを述べられない、不安を感じやすい特徴がある学生であり、実習時から自信につながるような関わりが必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生の実態調査についてIS太陽と連携する ・保護者との連絡・通信の機会をもつ ・実習前の臨床判断演習の科目に模試を導入し、成績評価に反映させる。 ・実習での口頭試問を強化する。
<p>基準5； 学生支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も事務長に協力を得て就職支援を行い、りんくう総合医療センターの就職試験では合格者が12名となった。令和6年度卒業生の3市3町の就職率は70%、大阪府内就職率80%は維持できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・就職100%になるよう支援の継続 ・IS太陽と連携し卒業生へ学校活動を発信し、ふるさと納税の協力を呼びかける

	<ul style="list-style-type: none"> ・2025年度卒業予定者では、6月現在で3市3町就職者が80.5%、大阪府内85.4%である。 ・泉佐野市による家賃補助制度が開始された。ふるさと納税補助金による卒業生への卒業後継続学習支援についても考えていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税システムの説明動画を作成し、入学説明会などで保護者に発信する ・令和7年度より家賃補助制度が開始となっているためHPにも掲載する ・ふるさと納税補助金による卒業生の進学支援制度について検討する
基準6： 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・インターホンを設置後、不審者が侵入するなどの事案は起こっていない。今年度は災害時のマニュアル作成が課題となっている ・ふるさと納税補助金により校内の補修、電子黒板、PCのリニューアル、自習室の拡充、教室の壁のホワイトボード化など教育環境改善の計画を進めている 	<ul style="list-style-type: none"> ・医師会のハラスメントマニュアルとの連携 ・災害時マニュアルを今年度中に作成する ・教育環境改善計画を実施する
基準7： 学生の募集と受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度は年間3回のオープンキャンパスの回数を予定している。4月の参加者は、45名であった。 ・推薦入試に指定校推薦を取り入れる計画で、7月に近隣の府立高校に推薦のお知らせを送る予定である。 ・SNS部の学生と協力したInstagramは順調に更新されていて、リール数は保たれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSクラブによる学生協力によりインスタグラム投稿数が増加しリーチ数は目標を達成している。 ・入試では、倍率維持を目標として、令和7年度から指定校推薦を取り入れる。
基準8： 財務	<ul style="list-style-type: none"> ・泉佐野市の協力を得て、令和6年11月より「泉佐野市 ふるさと納税」に「看護学生応援プロジェクト」を加えていただき補助金を頂いた。 	<p>「泉佐野市 ふるさと納税」について周知のための継続した広報活動と、卒業生などを中心に協力者を維持、拡大していくためのプランを考える。</p>
基準9： 法令案の遵守	<p>令和6年度に大阪府による定期指導調査を受け、指導内容については全て承認された。</p>	<p>引き続き法令案の遵守に努めると共に時期カリキュラム改正に備えて自己点検・自己評価を行い、よりよい学校を目指して改善を継続する。</p>
基準10・ 11：社会 貢献・地 域貢献	<p>地域在宅看護論のフィールドワーク、地域ボランティアによる地域との交流、地域貢献、協議会での社会貢献、学会発表、執筆による教育活動に関する貢献は十分に行っていると評価する。学校祭に関しても地域のお店に出店してもらって好評であった。</p> <p>日本初の車椅子の看護学生がニュース番組で報道され、ナースチャンネルにも動画教材として掲載されている。</p> <p>令和7年度は6月～NurseShare（南江堂）のリレー投稿を行っている。</p> <p>また日本看護学教育学会での教育委員として第35回学会での企画準備、3月の実習指導者研修会の企画、第36回の国際シンポジウムの企画を担当している。</p> <p>国際交流では、本校1年生のアメリカ研修に加えて、ミッション大学の看護学生の研修受け入れが2年目を迎え、好評により次年度も継続予定。</p> <p>上五島病院との連携の強化、離島の医療についての大阪での認知拡大のための広報活動実施</p> <p>在校生（2年生）がソロプチミストの夢を生きる賞を受賞するなど、社会貢献・地域貢献、国際貢献については十分に行っていると評価した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・専任教員と地域連携室のコラボレーションにより医介連携強化につながる地域参加企画を計画する。 ・引き続き学生の地域でのボランティア活動の推進と地域住民との連携継続。 ・合理的配慮が必要な学生への対応の継続と社会への認知度の向上 ・コンセプト・ベースド・カリキュラムやコンセプト学習についての認知を広める活動を継続 ・姉妹校との関係性の強化と共同プロジェクトの企画継続 ・上五島病院との連携継続強化 ・在校生の様々な賞の受賞を推進

令和7年度 自己点検

